

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第21号

## 20年後の社会のつくり手として 期待されること

### ——2月13日全校集会

2つの表彰(県文集「ゆめ」、玉名荒尾書初め展)のあと、次のような話をしました。

先週火曜日には新入学児童体験入学がありました。5年生や1年生が中心となって新しい1年生を気持ちよく迎えてくれました。そして、新しい登校班で保護者の方たちもいっしょに帰ってもらいました。

ところで、みなさんは通学路の危ない場所を意識していますか。見通しの悪いところ、車のスピードが出ているところ、雨の日に水が増える場所。来年度はそんなところをみなさんが教えながら帰っていったらいいですね。

私は新1年生のお母さん、お父さんたちに動画を見てもらいました。これからそれをみなさんにも見せようと思います。それは例えば10年後「すぐその未来」です。

10年後、みなさんは何歳になっていますか。1年生も小学校、中学校を卒業して高校生になっていることでしょうか。6年生は成人して働いている人がいるかもしれません。これから見てもらう動画は高校生が主人公です。

10年後、みなさんが高校生になったころ、こんな社会になっているかもしれません。そして20年後、みなさんが大人になったら、どういう社会をつくっていくかも想像しながら見てください。(動画視聴)

この動画は2018年につくられました。新型コロナウイルス感染症が出る前の年です。すでにドローン宅配やオンライン診療、無人トラクターが活躍しているところもあります。1月の雪の日、5年生はオンラインで授業を受けました。

こんなふうに世の中は変わっていきます。でもそんな中、未来の社会でも大切なことは変わらないと思います。それは人が人を大切にすることです。保健だより2月号には「やさしさビンゴ」があります。みなさんもそれを参考にして、人が人を大切にすることはどんなことなのか、これからも変わらずに具体的に考え続けてみてください。

## 4年生「つなしの会」

### ——2月15日総合的な学習の時間

伊倉更生保護女性会のみなさん5人や島津恵子(助産師)さんのご協力で実施しました。島津さんからは4年生の反応のよさに、伝えたいことが子供たちの心に届いたと、お褒めの言葉をいただきました。

かけがえのない命をつなぎ、これまで大切に育ててもらった家族への感謝の気持ちを改めて実感し、それを態度や言動、行動で伝えていこうという気持ちを持たせた4年生です。

## 読み聞かせ感謝の会—2月17日

本年度最後の保護者による読み聞かせのあと、児童から感謝のメッセージを送りました(写真は6年生教室の様子です)。



【→今回は裏面に続きます→】

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索

こうした本校の保護者や地域の方たちによる「読み聞かせボランティア」が本年度も玉名教育事務所長から表彰を受けました(2月14日)。これは長年にわたり多くの子どもたちを本の世界にいざない、読書のすばらしさにふれさせるために尽力されたことをたたえるものです。

## のべ288人の保護者や地域の皆様にお世話になりました

### ——本年度の地域学校協働活動

上記の各学年への読み聞かせをはじめ、丸付けボランティア(金曜日朝活動の算数の学力充実タイム)、2年生の町探検や、4年生の「つなしの会」、5年生の家庭科実習(裁縫、ミシン掛け)、6年生の卒業制作「ランドセルをテーマにした感謝の絵手紙」(写真)、花苗の移植、持久走大会、毎



日の登下校時の見守りなど多くの皆様のご支援をいただいて充実した教育活動が展開できました。保護者や地域の皆様とともにある伊倉小学校です。

## 本校の校内研究が管内教育論文校内研究小学校の部で**最優秀賞**を受賞しました **祝!** —2月14日

玉名荒尾地区教育委員会連絡協議会から表彰を受けました。論文題は『主体的・  
◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索

協働的に学び「わかる・できる」喜びを実感できる児童の育成～個の学びをつなぎ、深める授業づくりを通して～』です。

管内小学校37校のうちから最優秀賞を受賞できたことは、研究主任を中心として本校の先生方が一体となって授業改善に取り組み、児童の「わかる・できる」喜びにつながった成果が認められたと言えます。大変光栄なことです。これを励みに次年度へのステップをさらに一步着実に進めていく意欲を高めています。

## こんな伊倉っ子の心が育っています

2月14日の夕方、地域の方からお電話がありました。下校中の本校児童が横断歩道を渡る際、停止していただいたドライバーの方に**お礼のおじぎ**をしていたそうです。また、荷物の積み下ろしをされていた方に**「お手伝いしましょうか」**と言葉を掛けてくれたそうです。伊倉っ子のこうした**「感謝の心」「奉仕の心」**が育っていることに感心され、わざわざ学校へ電話していただいたそうです。心温まるうれしいお知らせでした。ありがとうございました。

## 6年生が遊具のペンキ塗り

——2月17日

卒業記念として6年生とその保護者の方10人ほどで遊具のペンキ塗りをしていただきました



た。おかげさまで校庭が明るくなりました。小学校卒業に向け着々と準備を整え、有終の美を飾ろうとしている6年生です。保護者の皆様もありがとうございました。